

VII. 認知症総合支援事業

【資料2-7】

【R4 年度目標】認知症の正しい知識の普及をめざし、村上市オレンジプロジェクトやサポーター養成講座を開催する。また、関係機関との意見交換会を開催し、事業の見直しや施策へ反映する。

市の認知症施策	R3 年度の実施	R4 年度の実施と課題
① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の開催 ⇒ 4 回（188 名受講） 村上市オレンジプロジェクト ⇒ 9 月実施 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の開催 村上市オレンジプロジェクト ⇒ JR 村上駅や放課後等デイからも協力を得て実施。 <p>課題：コロナ禍で、講座受講希望者が減少。再度周知が必要。</p>
② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	<p>【発症予防の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症予防事業の実施 ⇒ 元気クラブ：昨年度までの委託業者へ自主事業化 転倒予防教室 ⇒ 元気アップ教室へ (全地区：計 103 町内実施希望) <p>【医療・介護の連携推進】</p> <p>認知症サポートガイドの改訂</p>	<p>【発症予防の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気アップ教室の開催 (全地区：計 107 町内実施希望) <p>【医療・介護の連携推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症施策担当者会議の開催。 認知症サポートガイドの医療機関等への周知。 <p>課題：初期集中支援チームの在り方や対応ケースの選定の検討が必要。</p>
③ 若年性認知症施策の強化	<p>若年性認知症支援コーディネーター（黒川病院認知症疾患医療センター）からの情報提供、認知症対策推進会議への出席</p>	<p>昨年度同様、コーディネーターとの連携に関する取組みについて実施予定。</p> <p>課題：市内に若年性認知症のケースがどの位あり、どのようなニーズがあるのか、実態把握が難しい。</p>
④ 認知症の人の介護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> 村上地区「かたるんカフェ」 (11 回：参加者 70 名) 村上市介護者のつどいの開催 (1 回：参加者 16 名) 	<ul style="list-style-type: none"> 「かたるんカフェ」の開催 介護者のつどい（全 2 回予定） <p>課題：コロナ禍で、他地区の認知症カフェについては再開できていない状況が続いている。</p>
⑤ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進	<p>【地域の見守り体制】</p> <p>高齢者安否確認訪問や、例年同様町内で見守りや気になる人への訪問実施。</p> <p>【行方不明時の早期発見・保護】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り安心ステッカー 登録者数：61 名（内 15 名削除） 徘徊高齢者等の GPS 登録者数：3 名 	<p>【地域の見守り体制】</p> <p>昨年度同様実施予定</p> <p>【行方不明時の早期発見・保護】</p> <p>GPS は、5 名分の予算計上</p> <p>課題：ステッカーや GPS 事業の新規申請が少ないため、市報や SNS 等でも周知が必要。</p>